



1968年1月20日設立

2017-2018年度
国際ロータリー第2750地区多摩中グループ

東京昭島ロータリークラブ 会報

会長・鈴木一昭 幹事・森島徳幸

会長テーマ “^{いしづえ}礎 から^{あす}未来への懸け橋に”



2017年12月7日発行 VOL. 50-20

第2432回 2017年11月30日(木) 例会報告



2017~2018年度
イアン H.S. ライズリーRI会長

ロータリー:
変化をもたらす

司会

会員研修チーム
柴田不二雄 委員



点鐘開会

鈴木一昭 会長



ロータリーソング斉唱

「それでこそロータリー」
ソングリーダー 須藤 智秀 会員

来訪者紹介

柴田不二雄 司会

東京米山ロータリーEクラブ2750

ファオジオ・ディナ 様

ロータリー財団平和フェロー

モイン・ウディン 様

【チーム報告】

親睦活動出席チーム

出席報告

野村 芳樹 委員

会員総数	出席免除	出席義務者	本日の出席 内免除会員
49名	5名	44名	42名/4名
		事前メイクアップ 1名	本日の出席率 89.58%

※事前メイクアップ

岡本会員

※メイクアップ

11月16日例会分 訂正89.36%

小池会員



会務報告

鈴木一昭 会長

- 11月19日(日)青少年フェスティバルが開催されました。
- 11月20日(月)新会員研修会が開催されました。
- 11月27日(月)クリケットのまち昭島サポートクラブの設立総会が開催されました。一点質問させていただきました。
- 熊本城復興のため、50周年、くじら祭より20数万円の寄付をしております。この度御礼として「城主証」が送られてきました。



幹事報告

森島 徳幸 幹事

- 青少年フェスティバルが開催され、臼井昭島市長、清水実行委員長より礼状。
- 東京小金井RCより55周年記念事業、ポリオ撲滅のための「寄席」の案内
- 11月25日国際ソプロチミスト昭島30周年記念式典開催。
- 地区大会パンフレットを各会員にポスティング。
- カナダ・トロント国際大会の案内。
- 昭島郵便局より年賀状ハガキ広告について案内。
- 3月27日12時より赤坂・区民センターで開催、地区より「奉仕の集い」の案内。
- 米山学友新年会の案内。1月20日(土)16時～ バキヤ市ヶ谷
- 2018年4月19日記念式典まで、あと139日です。



来訪者挨拶

東京米山ロータリーEクラブ2750 ファオジオ・ディナ 様

今、アグン山が噴火して、各地で洪水が起こり妹が被害に遭っています。

ロータリー財団平和フェロー

モイン・ウディン 様

皆さん今日は、ホストカウンセラーの阿島さんに感謝しております。平和フェローとして1年4ヶ月過ごしています。私の人生最高の時間です。この事について少しお話をさせていただきます。……



【チーム報告】

青少年奉仕チーム

青少年奉仕フェスティバル報告 並木 武彦 チームリーダー

11月19日(日)昭島公民館前で開催されました。鈴木会長、森島幹事、大野会員、日恵野会員、木野会員、雨倉会員、小山(満)会員、私(並木T. L)の8名とRACメンバーなどが参加しました。当日は独楽回しやお手玉などをしました。又、当日は、設営など日恵野会員にはたいへんお世話になりました。独楽回しで森島幹事が大変上手でした。



会員研修チーム

新会員研修会報告

菊池 秀三 チームリーダー



11月20日(月)第1回新会員セミナーが炉辺会が開催されました。20名の参加、内3年未満の会員は9名でした。

2部構成で、第1部は講師の向山英雄管理運営委員長より「ロータリーのいろは」を、大野隆司委員より「ロータリーライフ」をお話し頂きました。第2部は3年未満の会員を中心に「ロータリーに入会して」をテーマに、経験豊かな会員の皆様から参考になるお話を伺いながら、皆さんと楽しみました。

◆◆ 例会案内 ◆◆

第2434回例会 12月14日(木)
ロータリー月間卓話
テーマ「疾病予防と治療について」
石川 隆俊 先生

第2435回例会 12月21日(木)
クリスマス例会

地区資金推進委員会 ポリオプラスセミナー報告

相田 禎延 地区委員

11月21日(火)ハイアットリージェンシー東京で開催されました。東北・弘前RCで活動されている関場会員はポリオに熟知されている方です。関場会員のお話が凄く印象的で、現在もアフガニスタンとパキスタンに15人の患者さんが残っているとの事です。引き続き、撲滅の為に皆様よろしくお願ひ致します。



社会奉仕・職業奉仕チーム

クリケットのまち昭島サポータークラブ総会報告

柳 賢司 チームリーダー

11月27日(月)に開催されました。当日は六団体の代表の皆様と市議会議員の皆様、クリケットクラブ役員の方々が大半でした。議案の中身はあっさりしており内容の説明になっていない様に思いましたが、来年からはしっかりと説明が出来る内容にしたいと思っております。



2018-19年度地区役員会

報告 安保 満 2018-19年度ガバナー補佐

11月27日(月)メルパルクホールで第1回地区役員会が開催さ



れました。初回と云う事もあって皆様の自己紹介、次年度に対する意気込みなど協議しました。終了後の懇親会では相田グループ幹事を囲んで和やかに過ごしました。

親睦活動出席チーム

※ニコニコボックス発表

河辺 光利 委員

鈴木会長 今年もあと1ヶ月です。体調などくささず年末年始をお過ごし下さい。

東京米山ロータリーEクラブ2750ファオジオ・ディナ様、ロータリー財団平和フェローモイン・ウディン様。本日はご来訪ありがとうございます。

森島幹事

安保直前会長、卓話よろしくお願ひ致します。東京米山ロータリーEクラブ2750ファオジオ・ディナ様、ロータリー財団平和フェローモイン・ウディン様。ようこそお越し下さいました。

渡辺会員

安保直前会長、本日の卓話楽しみにしております。久しぶりにディナさんが出席され、大変うれしく思います。



本日の合計	20,000円
累計	1,164,000円
予算達成まで	1,316,000円

卓話

テーマ「ロータリー財団について」 安保 満 会員



最終日になってしまいました。11月は「ロータリー財団月間」です。

今から3年前「ロータリー財団を理解しよう。ここさえおさえておけばOK7つのポイント」とご説明したことがありますが、7つだと覚えることが多いので

今回は6つにしました。この内容はロータリー財団のメンバーなら、誰もが話すことです。「寄付することで世界中で奉仕プロジェクトをしていることとなります。」と云う事です。アーチC、クランフというRI会長がこのロータリー財団を作りました。ロータリー財団の父と云われています。

またロータリー財団のメンバーであれば必ず知っているロータリー財団の標語は「世界で良いことをしよう ~Doing good in the world~」です。ぜひ覚えて頂ければと思います。

ロータリー財団の歴史。創設者はアーチ C、クランフ。国際ロータリーの6番目の会長ですが、第7代会長です。それはポールハリスが二期会長をしているからです。ロータリー財団~The Rotary Foundation~略して「TRF」です。

ロータリー財団の寄付は、3つの種類があります。年次基金、恒久基金、使途指定基金です。使途指定寄付はポリオプラスへの寄付です。ポリオプラス以外では平和フェローに対する寄付、海外で行うグローバルグラント(Global Grant グローバル補助金)などもあります。

皆様が一番馴染みがあるのが、年次基金です。11月になると皆さんは10,000円ずつロータリー財団への寄付をお願いされます。

恒久基金は、当クラブの場合は毎年会長になると1,000ドル、場合によって財団委員長も恒久基金への寄付をされています。

年次基金は、「毎年あなたも100ドルを」と云うのがキャッチフレーズでしたが、今は地区目標が150ドルになっています。

累積1,000ドルになるとポールハリスフェローという称号が贈られます。以後1,000ドルごとにマルチプルと云うことで表彰されます。累積10,000ドルになると、メジャードナーとなります。当クラブでは小山善治会員、と私(安保満会員)がメジャードナーです。3年後にプロジェクトに使われます。毎年1,000ドル寄付を宣言するとポールハリス・ソサエティとなります。当クラブでは小山浩二会員、小山善治会員、と私(安保満会員)の3名です。これは宣言すれば良いことで、毎年1,000ドルしなくても良いと云う事になっています。

恒久基金は1,000ドル寄付するとベネファクターで、会長になると毎年されています。これは元金には手を付けずに、運用益だけを使用しています。

我々が行った寄付は、世界中で使われています。寄付の半分はWF~国際財団活動資金と云う名前前で世界中の奉仕プロジェクトに使われています。残りの半分は、DDF~地区財団活動資金という名前前で、2750地区に戻ってきて地区内のロータリークラブで補助金として使うことが出来ます。我々が行った寄付の半分は3年後に世界中で使われている事になりますから、我々の寄付で世界中で奉仕をしている事になります。

ロータリー財団のプログラムは、7年前に「未来の夢計画」で簡略化され、今まで11あったプログラムが①補助金プログラム ②平和フェローシッププログラムの実質2つになりました。

補助金プログラムの中に、地区補助金(DG)とグローバル補助金(GG)があります。地区補助金は短期のプロジェクトで、人道的教育的文化的環境全てに使用可能です。グローバル補助金はプログラムの実施国に資金や専門知識を援助する、その国以外の国、海外のクラブ二つの国のロータリークラブが共同で行う国際奉仕プロジェクトに使うことが出来る補助金です。

グローバル補助金の中には、6つの重点分野があり、人道的な奉仕プロジェクトにしか使えません。

※以下、平和フェローシッププログラム、ポリオプラスについて詳しくお話し頂きました。

謝辞

管理運営委員会 向山 英雄 委員長

私共昭島ロータリークラブは何が幸せかと申しますと、出したお金は殆ど有効的に使わせていただいています。安保会員がいろいろ説明頂いて、こうやって使えば良いじゃないか、全て説明頂いています。今日も簡潔でわかりやすい説明でしたが、私たちはすぐ忘れてしまうので来年の今頃又説明して頂ければありがたいと思います。

記念品贈呈

左より 向山委員長、鈴木会長、安保満会員、森島幹事



閉会点鐘

鈴木 一昭 会長